

「ゆめ」を持ち続け

安心して子育てができる町へ

「こどもゆめ基金運営審議会」が発足

日南町では昨年7月、社会福祉協議会等の協力を得て、約1億円の「日南町こどもゆめ基金」を造成しました。

これまで行政主導で行ってきた子育て支援事業を、子育て家庭からの声に耳を傾け、子育て支援の充実した、「安心して子育てができる町」を目指して、町民の皆さんや事業所の皆さんにもご協力をいただき、有効活用について考えています。

こどもゆめ基金の運用のあり方については、町内の児童の保護者や学校教育関係者、事業所や児童福祉団体の代表など、14名の委員で構成された運営審議会で、これまで3度の会議を重ねてきました。その会でも出された主な意見は、概ね次のとおりです。

こどもゆめ基金

運営審議会での主な意見

- 子育て支援は中学校終了までと考える一方で、就職や結婚が決まるまでとか、若者が地元に残る施策を考えてほしい。
- パパ、ママ予備軍の支援も行ってほしい。
- 国や県の子育て支援助成事業を積極的に取り入れ、基金を最大限活用してほしい。
- 子育てはとかく母親に負担が片寄りやすい。町内の事業所でも学校行事などに父親の参加を促す取組

り組みが行われているが、さらに男性の育児参加が実現するよう、事業所への支援をする必要がある。○子育ては経済負担が大きいな課題。保育料減免などの子育て支援もありがたいが、万一の病気による医療費助成など、一時的に困った時の経済的な支援もお願いしたい。

- 子育て家庭の横のつながりを深めることが大切。
- 日南町らしさを活かした子育て・教育に取り組むことが若者定住につながるのではないか。
- 親子が安全に自然を感じながら遊べる公園が欲しい。統合小学校周辺に自然を生かした児童遊園を整備すればどうか。
- 母親の子育てと就業の両立を図るため、0歳時保育の実現を望む。
- 町ぐるみでの子育て気運を高めるためには、まちづくり協議会などで、地域住民と児童がふれ合う機会づくりが必要で、交流を目指したイベントの企画、人材育成が大切。

(意見の一部)



経済的負担の

【ファミリー・サポート・センター事業】

(窓口：子育て支援センター) 子育て中のお願ひ会員と、子育て経験者等の引き受け会員を募集し、一時の子育て支援サービスを仲立ちする助け合い事業です。

【放課後児童保育事業】

(窓口：福祉保健課) 日野上小学校3年生までの児童で、学校放課後に家庭での保育に欠ける児童を預かり、安全な遊びを見守ります。

【放課後子ども教室事業】

(窓口：教育委員会) 多里・山の上・福栄の各小学校で、学校放課後に学校居残り児童の安全な遊びを見守ります。

【子育て支援センター事業】

(運営：社会福祉協議会) 乳児子育て家庭の親子を対象に、親子での遊びの場、親子相互交流の場を提供し、子育てアドバイザーも提供します。

また、保育園に出かけての相談、保育園体験受け入れの「おでかけにっこり事業」も開催します。

【親子絵本のお城事業】

(窓口：図書館) 親子絵本の貸し出し冊数を充実し、図書館と子育て支援センターが協力して親子絵本の読書活動を奨励します。

【木のおもちゃのお城事業】

(窓口：保育園) 乳幼児期の発達に、安全な木のおもちゃでの遊びを普及するため、木のおもちゃの貸し出しをおこないます。

子育て支援へのご寄付をお待ちしています

平成19年度中に、町民の皆さん、町出身者の皆さん、それぞれ1名の方から「子育てに活用ください」と2件のご寄付をお寄せいただきました。町では、頂いたご寄付を「こどもゆめ基金」に積み立て、子育て支援に活用させていただきます。今後も皆様からのご協力をお待ちしています。

- 町内事業所における育児支援事業の普及奨励
- 親子遊びの場「子どもの森(仮称)」の整備
- 幼児・児童期の交換ホームステイの実施
- 青少年健全育成のための各種取り組み
- 家族の大切さ、次世代確保の取り組みなど

■こどもゆめ基金に関するお問い合わせは、

日南町役場 福祉保健課 (021-0374)

基金で取り組む子育て支援事業

0歳児預かり保育事業

生山地内で、子育て経験のある方のご協力を得て、0歳児の1～2名の預かり保育を行います。

小・中学生医療費助成事業

小学生、中学生の医療機関受診費用の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

妊婦健診費用助成事業

妊娠期の母体と胎児の健康管理のための妊婦健診受診の普及奨励、軽減を図るため、7回分の妊婦健診費を助成します。

町ぐるみ子育て地域活動団体助成事業

まちづくり協議会などの地域活動団体が取り組む、地域と児童の交流イベントなどの活動を支援する。